

はじめに

ご購入いただきありがとうございます。

UniStop にはユニークな機能が備わっており、すぐにマストアイテムとなることと思います。

様々なアドバンス機能を備えていながら、操作は非常に簡単です。数クリックをするだけで4人のドライバーのタイムを同時に計測可能。また、スプリットタイム(1 ラップにつき 9 つのスプリットタイム)も簡単に計測できます。



基本機能についてのクイックガイド

ここでは UniStop の基本機能である、4 人のドライバーのラップタイム・スプリットタイムを同時に計測、の説明をします。

UniStop をスタートする

MENU ボタンを押し、UniStop をスタートします。スタートアップスクリーンが数秒表示され、ストップウォッチスクリーンになります。MENU を 2 回押すとスタートアップの手順をスキップすることができ、ストップウォッチとして使用できます。

ラップタイムとスプリットタイムの計測

L1、L2、L3、または、L4 を押し 4 つのストップウォッチをスタートさせます。L1 はドライバー1 を意味します。どの順番でスタートさせてもかまいません。L1 を押すたびにドライバー1 のラップタイムを計測します。その他のボタンについても同じです。

スプリットタイムをとる場合は、S1～S4 を押します。8 つのスプリットタイムと、最終のスプリットからフィニッシュラインまでの合計 9 つのスプリットタイムが記録されます。

レース、テストセッションが終了したら、MENU ボタンを押しポップアップメニューを表示します。全てのストップウォッチを停止するには STOP ALL を選択します。メインメニューに移ります。

表示フォントを大きくする場合は、UniStop を点けるときに L2 ボタンを押し続けます。デフォルトに戻すときには点ける時に L1 を押し続けます。

分析モード

メインメニューから、分析モードに移ることができます。このスクリーンで計測したタイムを分析することができます。スクリーンは前とほとんど同じですが、違うラップ、スプリットにスクロールすることができます。UniStop は自動的に各ドライバーのベストラップを選択します。L1 から L4 のボタンを押すと、各ドライバーのラップをスクロールアップし、S1 から S4 を押すと、スプリットタイムをスクロールアップします。スクロールダウンするには、L1~L4、S1~S4 でスクロール中に OK ボタンを押し続けるだけです。

ラップのクリア

ラップをクリアするにはいくつかの方法があります。

- UniStop を点ける時に、OK ボタンを押し続ける。
- ポップアップメニューから CLEAR LAPS を選択する。
- ストップウォッチスクリーンで OK ボタンを押し続ける。

最初の手順以外は、OK ボタンで確認する必要があります。

UniStopを終了する

MENU ボタンを押し続けると、UniStop は終了します。メインメニューの POWER OFF を選択しても同様です。

アドバンス機能については、参照マニュアルをお読みください。

参照マニュアル

以下は、UniStop の全ての機能についての御説明です。

基本機能

USB コネクタ

USB vers. 2.0(フルスピード)での接続ができます。一般的なパソコンの USB ポートです。UniStop は USB プリンターとは接続できません。パソコンと接続する際は、付属の USB ドライバをインストールする必要があります。最初に UniStop を接続する前に、このドライバをインストールしてください。USB ケーブルはオプションです。

リアルタイム・クロック

UniStop にはリアルタイム・クロックが内蔵されています。UniStop が付いていない間もこの時計は作動しているので、日時を正確に記録します。

このリアルタイム・クロックはパソコンの PC Watch プログラムに接続する度に、パソコンの時計とシンクロします。

ディスプレイ

UniStop のディスプレイは、カスタムメイドの新しいグラフィックディスプレイで、128X64 ピクセル。いくつかの固定のマークがあります。これによりスクリーン上がさらに広く、使いやすくなっています。

アイコン

ディスプレイの上部にはいくつかのアイコンの表示があります。全てが UniStop で使われているわけではありません。UniStop はどのボタンを押したらいいのか常に表示しています。

それぞれのマークは、バッテリー状態、ストップウォッチ、USB 接続やメニューキー等を表しています。



バッテリー

UniStop は 2 つの標準 AAA セル電池で長時間作動します。リチウムより安価で、ソフトウェアを省電で操作できるよう工夫されています。

キーストラップ

UniStop にはキーストラップが付属しています。常に UniStop を携帯でき、また落とす心配もありません。

操作モード

UniStop を起動する



UniStop を起動するには、MENU ボタンを押します。ディスプレイはロゴが表示されるスタートアップ画面となります。同時に上部の LED が付いてカウントダウンが始まり、UniStop がストップウォッチとなります。

スタートアップ手順をスキップすることも可能です。MENU を 1 回ではなく 2 回押すことで、UniStop は直接ストップウォッチとなります。

また、MENU ボタンを押した後に OK ボタンを押すことで直接メインメニューにジャンプすることもできます。

もし標準のロゴが好きでなかったら、パソコンの PC Watch プログラムから変更することが可能です。ロゴはビットマップの白黒の 64x64 ピクセルの大きさです。また、下の文字も変更することが可能です。デフォルトでは www.uniproaptimer.com となっていますが、あなたの名前に変更することも可能です(最大 25 文字)。これも、PC Watch プログラムから操作します。

ストップウォッチ



ストップウォッチ画面は UniStop で最も重要な画面です。ストップウォッチをいくつ作動させるかにより画面のレイアウトが違ってきます。1 人だけの計測する場合は、画面により様々な情報が表示されます。

ストップウォッチをスタートするには L1 を押し、ドライバー 1 の計測を始めます。L2 はドライバー 2、と言うようになります。ディスプレイには対応するストップウォッチが表示されます。UniStop のマルチスタートを使うと、全てのドライバーが同時に計測開始します。

スプリットタイムをとる場合は、S1～S4 のボタンを使います。1 ドライバーにつき 1 ボタンです。1 ラップに付 8 つのスプリットタイムを取ることができますが、自動的に最終スプリットポイントからフィニッシュラインまでのスプリットが追加されます。

ラップ、スプリット共に最新の計測がされるたびに、ベストタイムと比較され上部の LED にフィードバックが表示されます。タイムが上がると、緑が点灯し、下がると赤が点灯します。ベストタイムに近いと黄色が点灯します。

ライトの表示は以下の通りです；

ベストラップとの差が +/-0.15 秒：黄色

ベストラップとの差が 0.15 秒以上：赤

ベストラップとの差が 0.15 秒以内：緑

この機能は、LED Feedback Setup で停止することもできます。

選択したドライバーの詳しい情報を見るには、ポップアップメニューから MORE INFO を使用します。ここで、理論上のベストラップを表示を含む更なる情報を見ることができます。

レースが終了したら、ポップアップメニューから STOP ALL で終了します。これで全てのストップウォッチが終了し、UniStop がメインメニューへ移り ANALYSE が選択できるようになります。
全てを終了し Analyse 画面に行くには、MENU を押し OK を 2 回押します。

一人のドライバーの計測



左のサンプル画面の通り、ディスプレイ上には多くの情報が表示されま
す。

メニュー列は 1 番を表示します。ドライバー 1 用のストップウォッチが作動
しているということです。もしドライバー 4 が最初に来ればこれから計測を
してもかまいません。

TIME は、現行のラップタイムです。タイムの右に表示されるのは周回数
です。LAST は前のラップで、その下に表示されます。2 ラップ目以降表
示されます。右には周回数が表示されます。その下に LAST ラップとベス

トラップとの差が表示されます。早かった場合はマイナスで表示され、遅かった場合はプラスで表示されます。

対応する S1~S4 を押せば、スプリットの数が表示され、スプリットタイムが計測されます。スプリットの数
はタイムの前に表示され、そのスプリットでのベストのスプリットタイムが右端に表示されます。表示が「Split L」と表
示されたら、それは最終スプリットのポイントからフィニッシュラインまでの区間のことです。ラップボタンを押し
計測を終了すると表示されます。

上部の時計のマークは、ストップウォッチが作動しているという表示です。

二人のドライバーの計測



メニューラインには数字の 1、2、が表示されています。これはストップウォ
ッチの 1、2、が作動しているということです(3、4、でも構いません)。もしド
ライバー 3、ドライバー 4、が初めにきたらこちらから計測しても構いませ
ん。

ディスプレイは現在のラップタイムと、周回数、ベストラップと周回数、スプ
リット数とスプリットタイムをドライバーごとに表示します。

新しいラップを開始するとき、前ラップが現ラップの代わりに表示されます。
このラップタイムは 15 秒間表示され、現在のラップタイムが表示されま

す。

スプリットタイムを計測しなければ、スプリットタイムの代わりに前ラップ(LAST)が表示されます。

上部の時計のマークは、ストップウォッチが作動しているという表示です。

3 人のドライバーの計測



STOP WATCH		1,2,3
Time: 18/0:23:74	[12/0:43:28]	
Split 2: 14:37	[14:29]	
Time: 18/0:24:19	[11/0:43:43]	
Split 2: 14:49	[14:37]	
Time: 18/0:25:04	[06/0:43:76]	
Split 2: 14:47	[14:43]	

メニューラインには数字の 1、2、3 が表示されています。これはストップウォッチの 1、2、3 が作動しているということです(3、4、でも構いません)。もしドライバー 2、3、4 が初めにきたら、ここから計測をしても構いません。ディスプレイには各ドライバーの現在のラップタイムとラップ数、ベストタイムとその周回数、スプリット数とスプリットタイム、ベストスプリットタイムが表示されています。

但し、新しいラップの計測を始める時、現行のラップタイムの代わりに前回のラップタイムが表示されます。現行ラップに代わるまで 15 秒間表示されます。スプリットタイムをとらない場合は、前ラップのタイムがスプリットタイムの代わりに表示されます。

上部の時計のマークは、ストップウォッチが作動しているという表示です。

4 人のドライバーの計測

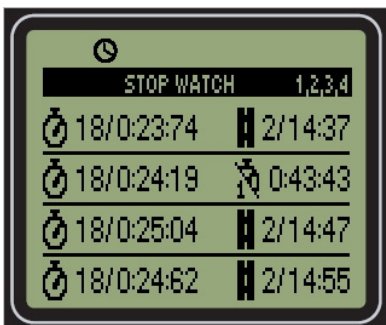


STOP WATCH		1,2,3,4
Time: 18/0:23:74	[12/0:43:28]	
Split 2: 14:37	[14:29]	
Time: 18/0:24:19	[11/0:43:43]	
Split 2: 14:49	[14:37]	
Time: 18/0:25:04	[06/0:43:76]	
Split 2: 14:47	[14:43]	
Time: 18/0:24:62	[14/0:43:61]	
Split 2: 14:55	[14:34]	

ディスプレイには、各ドライバーの現行ラップタイム、ラップ数、ベストラップと周回数、スプリット数、スプリットタイムとベストタイムが表示されます。

但し、新しい計測を開始するときには、現行ラップタイムではなく、前ラップタイムが表示されます。現ラップタイムに代わるまで 15 秒表示されます。スプリットタイムをとらない場合はスプリットタイムの代わりに前ラップタイムが表示されます。

上部の時計のマークは、ストップウォッチが作動しているという表示です。



STOP WATCH		1,2,3,4
18/0:23:74	2/14:37	
18/0:24:19	0:43:43	
18/0:25:04	2/14:47	
18/0:24:62	2/14:55	

3、4ドライバー計測を頻繁にする方用に、より大きなフォントで表示できる特別モードがあります。この特別モードにするには、UniStop を指導するときに L2 を押し続けます。通常モードに戻すには、始動するときに L2 ボタンを押し続けます。一度特別モードにすれば、次回からも同じモードで立ち上がります。

サンプル画面では、4 ドライバー計測のもので、スプリットタイムをとらない場合、スプリットタイムの代わりにベストラップが表示されます。2 のドライバーがその表示例です。

ストップウォッチのポップアップメニュー



ストップウォッチが作動している間、ポップアップメニューを表示させることができます。MENU ボタンを押すと、サンプル画面のようにメニューが表示されます。ストップウォッチがスタートしている場合は MENU ボタンを少し長めに押す必要があります。これは、L4 ボタンを押すときにメニューが表示されるのを防ぐためです。

MENU ボタンをもう一度押すと、ポップアップメニューは消えます。アップ、ダウン(L4 と S4)のボタンを使ってメニューを選択、OK を押します。

ポップアップメニューからは、以下のメニューが選択できます。

- STOP ALL 全てのストップウォッチを停止、メインメニューに移動
- MORE INFO 各種情報の表示(理論上のラップタイムの表示等)
- REMOVE DRIVER ドライバーを削除
- MAIN MENU メインメニューに移動

メニューのデフォルトは、“STOP ALL”になっています。これで直ぐに計測を停止し、MENU ボタンを押し OK を押しメインメニューに移動することができます。

もしストップウォッチから直接分析モードに移動するには、MENU ボタンを押し OK を 2 回押します。これで計測を全て停止、分析モードに移ります。



計測していない場合、左のようなポップアップが表示される場合があります。

メモリーに既に計測されたラップがあるため、以下のメニューを選択することができます。

- CLEAR LAPS メモリーを全てクリア
- ANALYSE メモリーのラップを分析
- MAIN MENU メインメニューへ移動



全てメモリをクリアしてしまった場合、ポップアップメニューから選択できるのはメインメニューへの移動(MAIN MENU)のみです。

ストップウォッチ分析

ストップウォッチ分析モードは計測したラップ、スプリットタイムを見るためにあります。



メニューラインの右にはドライバーの番号が表示されます。

ストップウォッチ分析画面は自動的にドライバーのベストラップを表示します。スプリットタイムを計測していない場合は、そこには表示は何もされません。

ドライバーのラップ数を L1~L4 のボタンを使って変えることができます。スプリットタイムを変えるには S1~S4 のボタンを使います。ラップ、スプリットとも、L1~L4、S1~S4 ボタンを押すごとに増えていきます。もし減らすのであれば L1~L4、S1~S4 ボタンを操作するとき OK ボタンを押し続けます。

分析ポップアップメニュー

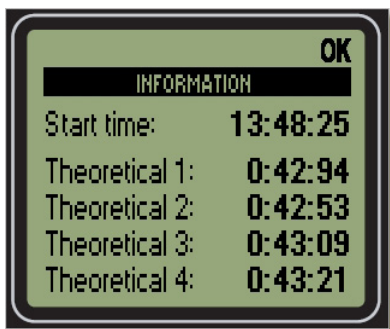


分析モードを操作中、ポップアップメニューを表示させることができます。MENU ボタンを押すとポップアップメニューが表示されます。もう一度メニューボタンを押すか、左矢印を押すと、ポップアップメニューは消えます。上下のボタン(L4 と S4)を押してメニューを選び、OK ボタンを押します。

ポップアップメニューでは下記の操作ができます。

- 全てのラップをクリア
- より多くの情報表示、例) 理論上のラップタイム
- メインメニューへ移動

インフォメーション



インフォメーション画面は、ストップウォッチモード、ストップウォッチ分析モード、両方から表示することができます。他の画面で見られる情報より多くの情報を見ることができます。

インフォメーション画面では、レースの開始時間、4人のドライバーの理論上のベストラップタイムを表示します。理論上のベストラップタイムが計算できない場合は、“-:--:--”と表示されます。

OK ボタンを押すと、UniStop はストップウォッチモード、ストップウォッチ分析モードに戻ります。

メインメニュー



メインメニューからは、スイッチオフを含む数々のメニューに移動することができます。

スクリーン上に、メニューポイントと時刻が表示されます。上下のボタンでメニューポイントを選択、OK を押します。これは記号と共に上段に表示されます。

最下段には現行の日付と時刻が表示されます。

メインメニューからは以下の操作が可能です。

- ストップウォッチモードへ移動
- ラップタイムの分析
- Unistop の設定
- Unistop をスイッチオフする

ストップウォッチが作動している間は、分析モード、或いは設定モードに移動することはできません。ストップウォッチが作動しているかどうかは最上段に時計のアイコンが表示されていることで分かります。

UniStop をスイッチオフする場合、矢印ボタンを使い“POWER OFF”を選択し OK ボタンを押します。設定メニューから自動 POWER OFF を選ぶことも可能です。

ヒント：メニューボタンを 2 秒押し続けると、UniStop はスイッチオフします。

設定メニュー



基本的な設定はセットアップメニューにあります。このメニューでは下記の項目を変更することができます。

- 時刻と日付
- ディスプレイのコントラスト
- 使用言語
- 電源オフ時間
- マルチスタート
- LEDフィードバック

設定が終わったら、左の矢印ボタンを押しメインメニューに戻ります。設定は保存されバッテリーを取り去らない限り消去されません。

時計の設定



UniStop は、リアルタイムの時計を内臓、電源オフの状態でも作動しています。

時刻の設定には 2 つの方法があります。

簡単なのは、PC Watch というソフトを使い PC とつなぐ方法です。USB ケーブルで UniStop と PC をつなげるたび、時刻は PC に内臓の時計とシンクロされます。この方法であれば、UniStop の時刻を正確に保つことができます。

もうひとつの方法は、図のような時刻設定画面を利用する方法です。左、右矢印を使い画面上を移動し、対応する時刻を上下ボタンで選んでいきます。選択した数字は太字で表示されます。時刻を設定するには OK ボタンを、キャンセルするには MENU ボタンを押します。

24 時間、12 時間モードも選択可能です。日付と月の順番も変更可能です。数値を変更するときには、上下のボタンを押し続けると数値調整が速くできます。

ディスプレイのコントラスト設定



ディスプレイのコントラストとは、点灯したドットと点灯していないドットの明るさの差です。コントラスト設定は、“CONTRAST”を選択しコントラストを手動で調整することができます。上下の矢印ボタンを使い調整します。コントラストは-6 から、+6 まで選ぶことができ、同時にコントラストの変化も見ることができます。好みのコントラストになったら OK を押し設定メニューに戻ります。

言語設定



UniStop には異なる言語がサポートされており、設定メニューから選択することができます。設定するには、“LANGUAGE”に移り OK を押します。上下のボタンで言語を変更することができます。

OK ボタンを再度押すと、他の言語に変更されます。言語は常に 2 文字で表示されます。

自動電源オフ設定



使用していない場合、UniStop は自動的に電源オフします。バッテリーをセーブするため、素早く電源オフにしたいが、通常の作業に影響を及ぼしたくはありません。“OFF TIME”を選択し OK を押すことにより、1分から 30 分の範囲で自動電源オフ設定をすることができます。上下のボタンで時間を選び、OK をもう一度押しメインメニューに戻ります。

マルチスタート設定



UniStop の始動するには 2 つの方法があります。

マルチスタートがオフであるとき、それぞれ別々にスタートボタンを押します。

マルチスタートがオンであるとき、全てのストップウォッチは一度にスタートします。ドライバーを減らしたい場合は、ポップアップメニューの“REMOVE DRIVER”を使用し、減らすことができます。

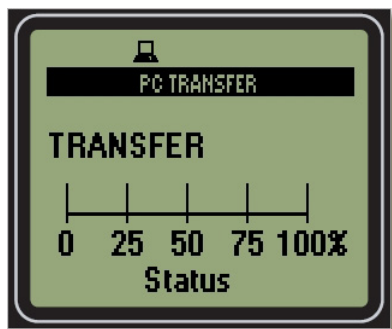
LED フィードバック設定



UniStop はラップ、スプリットタイムをベストタイムと比較し、同じ、良い、悪いを LED ランプで表示します。

この機能を必要としない場合、LED FEEDBACK のチェックボックスをオフにします。

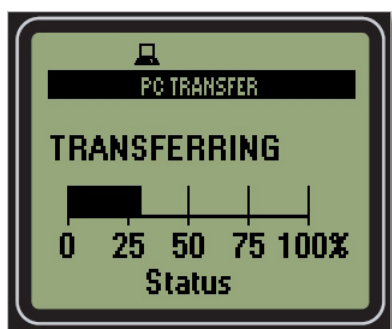
PC トランスファー



UniStop は USB ケーブルを接続すると自動的に PC モードになります。手動で PC モードにはなりません。

USB ケーブルが接続されている間は、PC プログラムが UniStop を制御します。データを相互送信可能で、UniStop のファームウェアを変更・更新します。

画面上でトランスファー状況を確認することができます。プログレスバーは 0% から 100% まででデータ移行が確認できます。



UniStop は USB ケーブルを外すと通常のメインメニューに戻ります。

USB ドライバーが PC に正しくインストールされていない場合は、UniStop は認識されません。PC は USB ケーブルのみを検出するだけです。USB ドライバーが正しくインストールされていることを確認してください。

バッテリー交換



バッテリーの交換時期は、上段にバッテリーの記号が表示され分かります。機能が直ぐにストップするわけではありません。バッテリーが弱まると最初に内蔵のリアルタイム時計が狂い始めます。バッテリーの記号は、ボルテージが 2.2V になると表示されます。1.7V に落ちるまで 5 段階のお知らせがあります。電圧は UniStop が 10 秒間使用されていない間に計測されます。

バッテリーはボックスの内側にあります。背面を向け作業台に UniStop を置きます。下方の 6 箇所のスクリューを外します。1.5V AAA のアルカリ電池が 2 つ入ったバッテリーホルダーがあります。交換してください。電極を正しく設置してください。間違っても逆方向につけても UniStop には問題ありません。

UniStop を再度組み立てるときは 2 本の短いスクリューは上部に、4 本の長いスクリューはバッテリーのホルダーに使用してください。

使用後の電池は定められた方法で処分してください。